

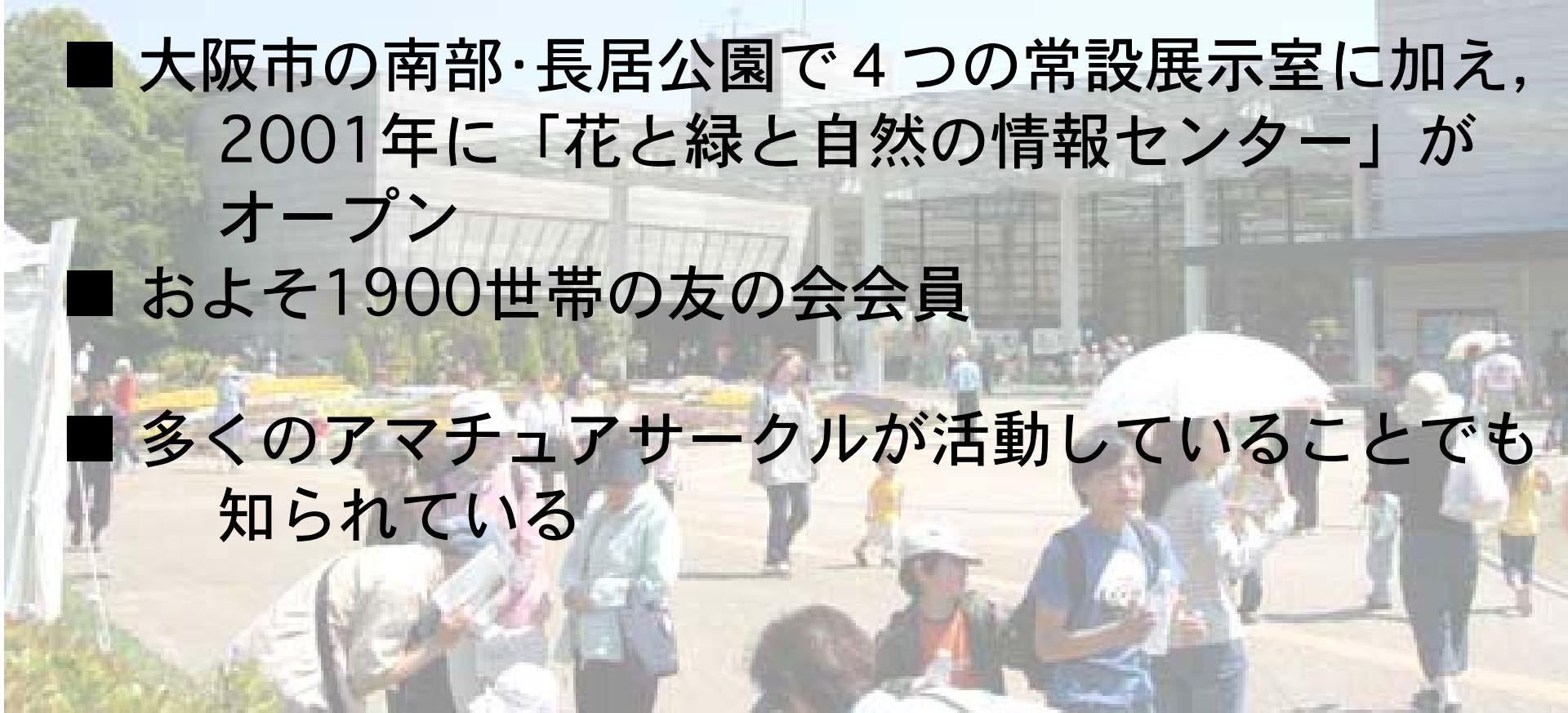
地域の「自然の情報センター」 として機能するために

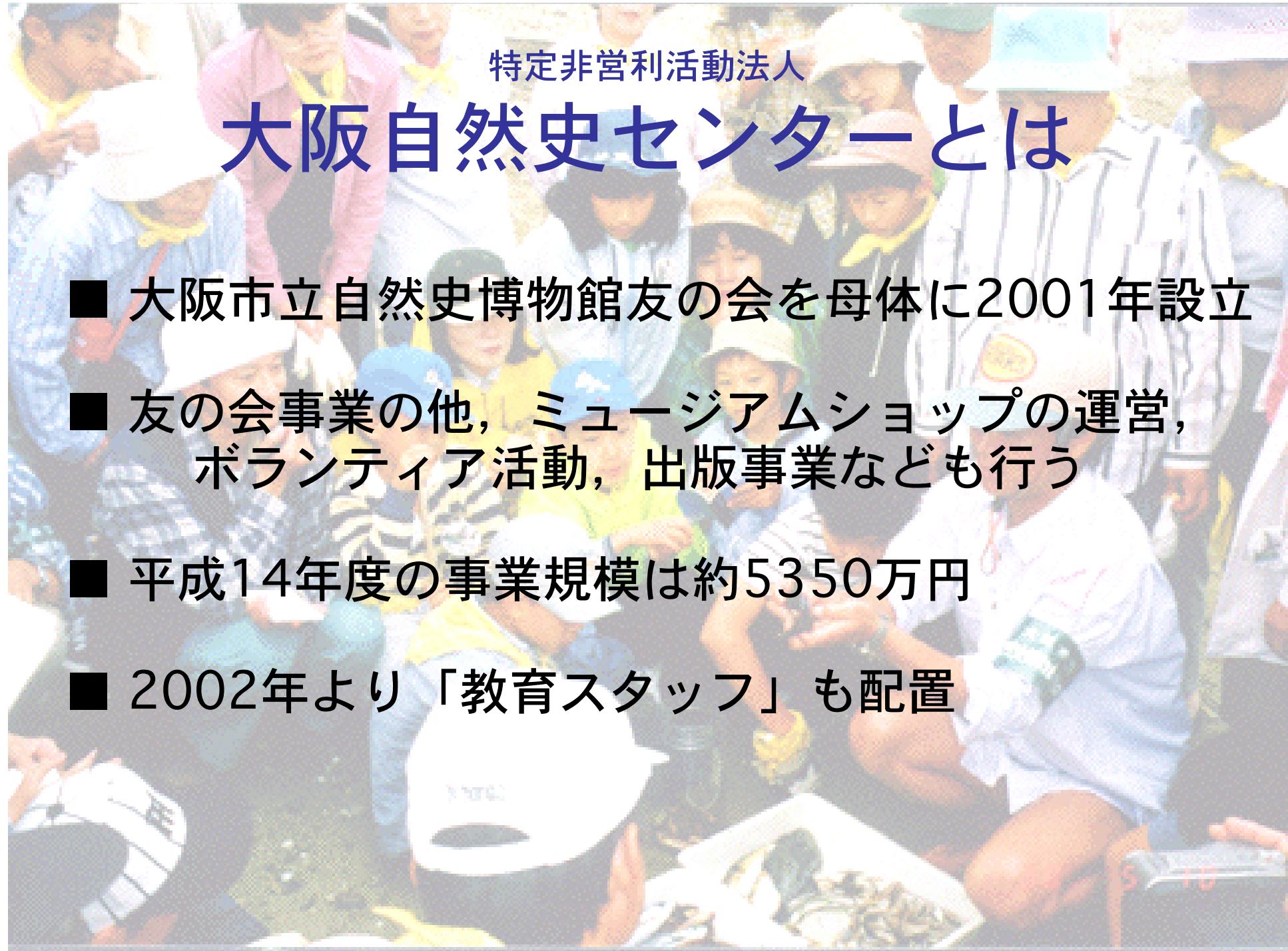
NPO法人大阪自然史センターと
大阪市立自然史博物館が目指したもの

橋 麻紀乃（大阪自然史センター）
佐久間大輔（大阪市立自然史博物館）

大阪市立自然史博物館とは

- 大阪市立自然科学博物館が前身。
通算して50年を超える活動
- 大阪市の南部・長居公園で4つの常設展示室に加え、
2001年に「花と緑と自然の情報センター」が
オープン
- およそ1900世帯の友の会会員
- 多くのアマチュアサークルが活動していることでも
知られている





特定非営利活動法人

大阪自然史センターとは

- 大阪市立自然史博物館友の会を母体に2001年設立
- 友の会事業の他、ミュージアムショップの運営、ボランティア活動、出版事業なども行う
- 平成14年度の事業規模は約5350万円
- 2002年より「教育スタッフ」も配置

自然史博物館の活動

- 資料収集保管
- 地域の自然環境に関する情報を集め,
整理し、提供する
- 調査研究
- 教育・普及
- 人々の知的好奇心を刺激し、自然を見つめる学習の援助を行う
- 展示
- そのために必要なスタッフと施設をそろえ活動を推進する

自然史博物館を もっとも頼りにしている人は誰？

- 学校
- 地域住民 (日常の学習施設として)
- 域外の住民 (観光・行楽ユース)
- 隣接地域のアマチュア
- 隣接地域の自然関連活動

この先には、
それぞれの地域の
「学校」や「地域住民」が
存在

大阪自然史センターが 目指しているもの

(1) 学校との連携

1. 遠足利用者向けの利用改善
2. 教科学習・「総合的な学習の時間」への支援

(2) 地域との連携

博物館との連携のためのイベント
「大阪自然史フェスティバル」

…その楽しさを求心力に
地域のアマチュア・自然関連団体を取り込む

(1)-1. 遠足利用者向けの利用改善

■下見のために来館した
教員への説明会

■来館校へのアンケート
・聞き取り調査



↓
学校側の、博物館への要望が見えてくる

(1)-1. 遠足利用者向けの利用改善

学校側の要望

■混雑・整列見学の緩和 & グループ行動

→ 閑散期・時間の紹介

■しおり・プリント用資料

→子供向けの展示解説パネル

館内マップ、ワークシートの作成

※ 学校は最新の情報を博物館に求めてはいない？

いつも同じものが展示されていると思っている？

(1)-2. 教科学習・総合的な学習の時間への支援

■児童・生徒に対して

- ・画板の貸し出し
- ・ワークシートの作成
- ・質問への応対
- ・学習テーマにそった
展示解説・実習など
- ・資料の貸し出し



(1)-2. 教科学習・総合的な学習の時間への支援

■児童・生徒に対して

- ・画板の貸し出し
- ・ワークシートの作成
- ・質問への応対
- ・学習テーマにそった
展示解説・実習など
- ・資料の貸し出し



(1)-2. 教科学習・総合的な学習の時間への支援

■児童・生徒に対して

- ・画板の貸し出し
- ・ワークシートの作成
- ・質問への応対
- ・学習テーマにそった
展示解説・実習など
- ・資料の貸し出し



(1)-2. 教科学習・総合的な学習の時間への支援

■児童・生徒に対して

- ・画板の貸し出し
- ・ワークシートの作成
- ・質問への応対
- ・学習テーマにそった
展示解説・実習など
- ・資料の貸し出し



(1)-2. 教科学習・総合的な学習の時間への支援

■児童・生徒に対して

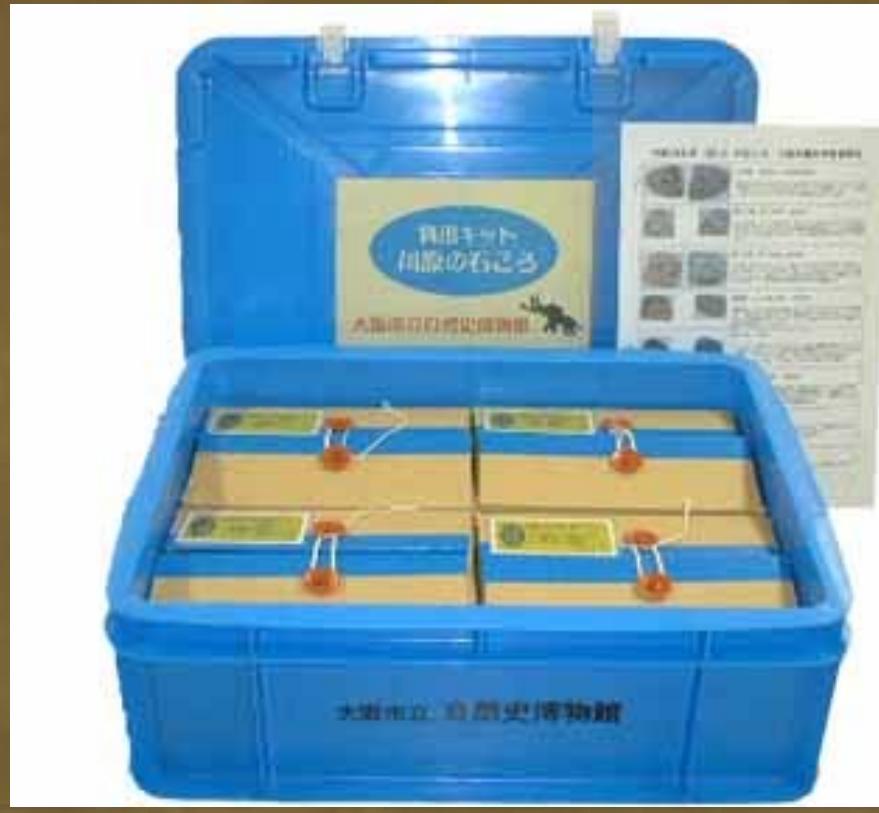
- ・画板の貸し出し
- ・ワークシートの作成
- ・質問への応対
- ・学習テーマにそった
展示解説・実習など
- ・資料の貸し出し



(1)-2. 教科学習・総合的な学習の時間への支援

■ 資料の貸し出し（館発行の書籍・ビデオ・標本）

貸し出しキット 「川原の石ころ」



(1)-2. 教科学習・総合的な学習の時間への支援

■資料の貸し出し（館発行の書籍・ビデオ・標本）

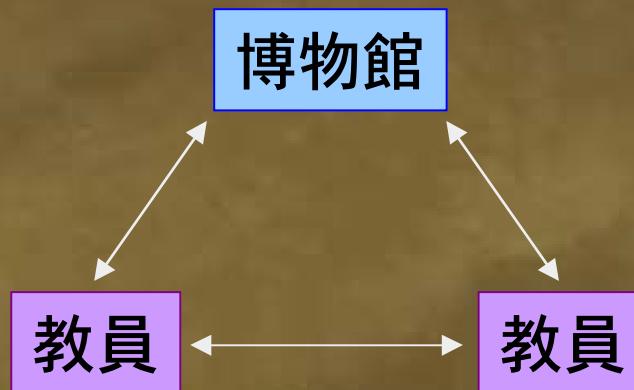
貸し出しキット 「川原の石ころ」



(1)-2. 教科学習・総合的な学習の時間への支援

■教員に対して

- ・ 教員向け行事
 身近な自然観察のノウハウを 提供
- ・ 「TM通信」の配信（登録制）
 博物館→教員：教育関係の行事のお知らせ
 教員→博物館：要望・助言・協力



(1)-2. 教科学習・総合的な学習の時間への支援

- ・教員向け行事 「カニ釣り」



(1)-2. 教科学習・総合的な学習の時間への支援

- ・教員向け行事 「火山灰」



(1)-2. 教科学習・総合的な学習の時間への支援

- ・教員向け行事 「蝶・蛾の幼虫の観察」



(1)-2. 教科学習・総合的な学習の時間への支援

- ・教員向け行事 「簡単な実験で花色の謎にせまる」



(1)-2. 教科学習・総合的な学習の時間への支援

- ・教員向け行事 「きのこ」



(1)-2. 教科学習・総合的な学習の時間への支援

- ・教員向け行事 「川原の石ころ」



(1)-2. 教科学習・総合的な学習の時間への支援

- ・教員向け行事 「樹脂を使った標本作り」



(1)-2. 教科学習・総合的な学習の時間への支援

- ・教員研修
市 理科教諭研修 など



(2) 地域との連携

博物館との連携のためのイベント
「大阪自然史フェスティバル」

- 博物館は「地域の自然の情報拠点」でありたい
- そのためにも地域の自然をよく見ている人たちの「集まる場所」でありたい
- さらに博物館での交流が、各地での観察や活動にプラスになれば...
 - ↓
 - 地域に根ざした自然科学の効果的な普及教育の実現

(2) 地域との連携

大阪自然史フェスティバル

大阪周辺の
アマチュア研究グループ・
自然保護団体・博物館など
自然関連施設、合計80以上
のグループが参加

来場者

3日で約20000人 (2003)

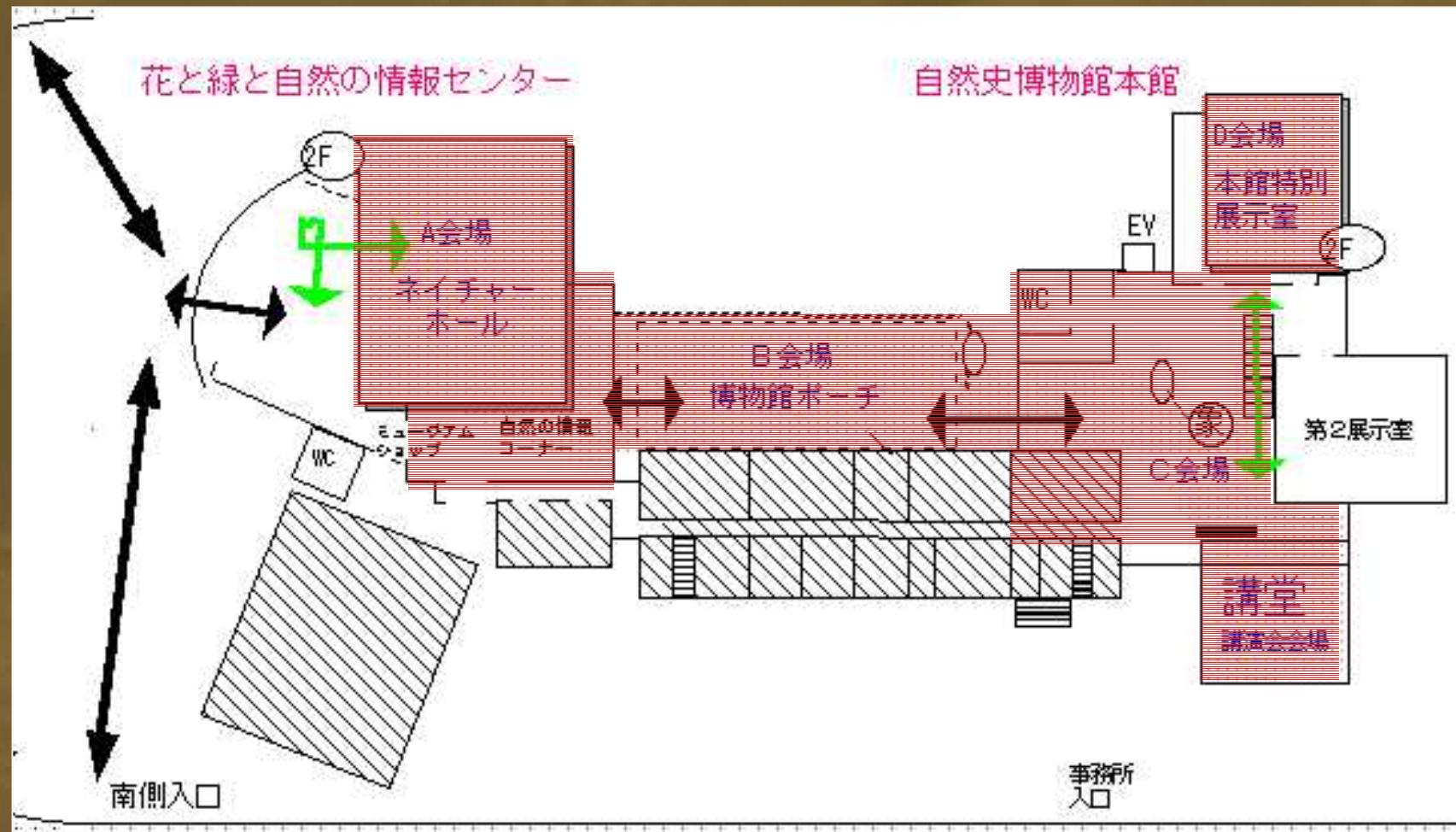
2日で約15000人 (2004)

友の会会員・周辺住民を
中心に



大阪自然史フェスティバル

特色1. 博物館全体を会場に展開



大阪自然史フェスティバル

特色1. 博物館全体を会場に展開



大阪自然史フェスティバル

特色2. 市民団体が主体

会場で展示するのは学芸員ではなく、参加者である市民団体

各地の優れた自然やいきものの面白さをアピール



大阪自然史フェスティバル

～準備の様子～



大阪自然史フェスティバル

それぞれのブースが一個の小さな博物館



- ・各団体の個性と想いがあふれた空間が展開
- ・ジュニアからシニアまで活躍

大阪自然史フェスティバル

グループ間の交流・博物館との交流

- ・様々な取り組みの発表の場としてノウハウや悩みを共有
- ・博物館が地域の自然を語るためのプラットフォームになる



大阪自然史フェスティバル

成果1. 自然を見つめる活動の楽しさを伝える

- ・博物館の来館者・市民に自然をめぐる活動の楽しさを伝える
- ・市民に受け手なだけではなく、知識を求め交流する喜び、表現する喜びを伝える



大阪自然史フェスティバル

成果2. サークル活動の成果を還元



- ・博物館を拠点に活動する
アマチュア・サークルの成果発表の場として
- ・友の会会員や一般市民の
サークル活動への巻き込みの機会として

博物館にとって、 パートナーとなる市民は 大切な「財産」

- 単発のイベントとしてだけでは魅力あるものにならない
- 博物館と市民団体の、長い時間の中で積み上げられた信頼関係が大切
- 日常のアマチュア支援などの活動の充実がキーポイント

NPOが仲立ちする 博物館と市民の交流

- 博物館と市民をつなぐ受け皿には、博物館友の会の役割は重要
- 大阪自然史センターは法人化によって、会計や契約上の透明性、スタッフの雇用条件などの改善に成功
- さらに社会的な役割を担う団体へ向けて成長中

ありがとうございました。

貸し出し教材など、一部を展示しています。
ご覧下さい。

